記者発表（配付）資料

令和8年11月2日

所　属　部　課	消防長	課長	係長	担当	連　絡　先
萩市消防本部予防課	堀　秀通	藏貫　豪	小田　和嗣	村上　仁健 阿武　　均	0838-25-2798

件　名	～　火の確認　いい日を支える　いい習慣　～ 令和8年秋季全国火災予防運動　幼年消防防火パレードの開催について

秋季全国火災予防運動が11月9日（月）から11月15日（日）の7日間、全国一斉に実施されます。

萩市消防本部では、市民に対し広く火災予防を呼びかけるとともに、防火思想の普及啓発を図る行事を行いますので、お知らせします。

○　行事内容

幼年消防クラブによる防火パレード

①　日　　時　　令和8年11月15日（日）　午前10時40分～午前11時30分
②　順　　路　　南崎歯科前から金谷天満宮前まで（別紙順路参照）
③　内　　容　　幼年消防クラブ（椿保育園児）が防火パレードを行い、火災予防を呼びかける。
④　参加機関　　萩市椿保育園、萩市消防団椿分団、萩市消防本部予防課
⑤　主　　催　　萩市消防本部





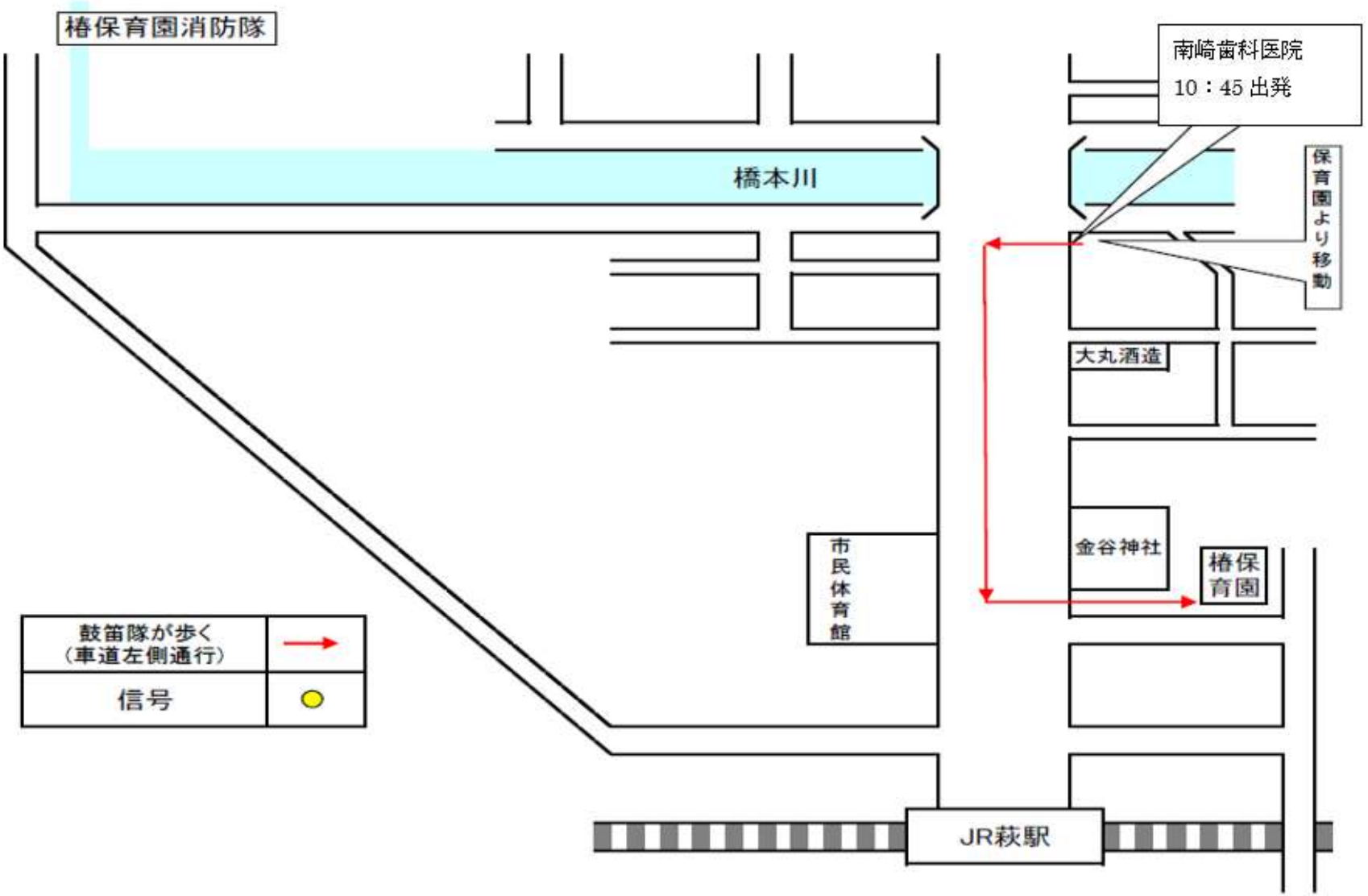
例年のパレードの様子

○　その他の行事

萩ふるさとまつり消防ブース　～家族で消防を体験しよう　～

日　時　　令和8年11月14日（土）　午前10時～午後3時
場　所　　萩市役所前駐車場
内　容　　はしご車搭乗体験、車両展示、住宅用火災警報器展示、火災予防ぬりえ、火災予防間違いさがし、消火器体験、消防団入団促進コーナー等※萩消防オリジナル缶バッジをプレゼント

別紙


椿保育園消防隊
南崎歯科医院
10：45 出発
橋本川
保育園より移動
大丸酒造
市民体育館
金谷神社
椿保育園
鼓笛隊が歩く
（車道左側通行）
信号
JR萩駅

記者発表（配付）資料

令和8年11月4日

所属部課	局　　長	課　　長	課長補佐	担　　当	連絡先
萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課	岸田　尚之	岡村　卓司	吉崎　政志	蛭子　亜伊 椿　翔吾	（０８３８） ２５－３５９０

件　名	**第１９回萩市中央公民館舞台発表会の開催について**

中央公民館や萩市民館を普段から利用されている団体が中心となって実行委員会を作り、日頃からの成果を地域へ発表し、また団体相互の親睦・連携を深め更なる各団体の発展に励むための発表会を開催しますのでお知らせします。

■日　時　令和８年１２月６日（日）
開演 午後１時　終演 午後３時１５分（予定）

■会　場　萩市民館 小ホール

■参加団体
●前半の部（午後１時～）
1. 琴凌流大正琴愛春会（大正琴）
2. アロハフレンズ Pono（フラダンス）
3. 萩ハーモニカ同好会（ハーモニカ演奏）

●後半の部（午後２時２０分～）
4. コーラス椿フレンズ（合唱）
5. 鶴洲吟詠会　秦支部（詩吟）
6. 萩三音会（三味線）

■その他　入場料無料

■主　催　萩市中央公民館舞台発表会運営実行委員会
萩市中央公民館

イベントの詳細は、文化・生涯学習課 HP の「令和8年度萩市中央公民館舞台発表会」をご確認ください。https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/18/h67081.html

入場無料

第19回萩市中央公民館
舞台発表会



日時　2026年 12月 6日 日　13:00-15:15

会場　萩市民館小ホール

主催：萩市中央公民館舞台発表会運営実行委員会

連絡先：萩市教育委員会事務局文化・生涯学習課　TEL25-3590

プログラム



13：00～会長挨拶

13：05～琴凌流大正琴愛春会

・また君に恋してる・百万本のバラ
・一円玉の旅がらす・人生いろいろ

13：25～アロハフレンズPono

・ファカルフィルフィ・マイレスウィング
・ヘレイノアウラニ・ホワイトクリスマス

13：50～萩ハーモニカ同好会



・バラが咲いた・昴
・スワニー河（故郷の人々）挿入曲ユーモレスク
・冬の歌メドレー

休憩　14：10～14：20

14：20～コーラス椿フレンズ

・ザ・ローズ・卒業写真・広い河の岸辺

14：40～鶴洲吟詠会　秦支部

・坂本龍馬を思う・後夜仏法僧鳥を聞く
・余生・古城

15：00～萩三音会

・三下り合方集

15：10～館長挨拶

中央公民館で活動している団体による発表会です。活動の成果を披露いたしますので、お楽しみください。



出演団体紹介

琴凌流大正琴愛春会

琴の生の音色にひかれ、色々な曲を弾ける喜びを感じ、親睦を深め楽しんでいます。皆様もご一緒に楽しみませんか？



毎月2回　会員数15名

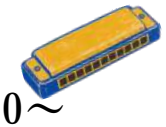
アロハフレンズPono

毎回みんなでワイワイ楽しく踊っています。ぜひみなさんも一緒にハワイの曲に癒されながら踊りませんか？新しい仲間募集中です！

毎週火曜日19:00～
第2土曜日13:30～　会員数6名

萩ハーモニカ同好会

懇切丁寧な先生の指導のもと和気藹々と楽しく練習を続けながら、年々少しずつハーモニカ演奏の技術力が向上しています！



第2・第4火曜日13：30～
会員数10名

コーラス椿フレンズ

同学年の女性コーラスグループで結成して16年です。懐かしいポピュラーソング、小学唱歌など楽しく歌っています。発表会が近づくと練習回数を増やして頑張っています。

第1・第3月曜日13：30～
会員数10名

鶴洲吟詠会　秦支部



日本吟剣詩舞道連盟に属し、様々なコンクールに出場しています。始めたその日からすぐに吟じられるようになります。

第1・第3火曜日10：00～
第2・第4火曜日13：00～
会員数10名

萩三音会

個人レッスンを中心にそれぞれのペースで丁寧にお稽古しています。年1回のおさらい会をはじめ地域のイベントへの出演を行っています。



不定期　会員数10名

記 者 発 表 （ 配 付 ） 資 料

令和8年11月4日

所属部課	部 長	課 長	係 長	担 当	連絡先
萩市市民部 市民活動推進課	廣石 泰則	角屋祐一郎	廣田 泰道	森岡 栄智	（0838） 25-3601

件 名	第76回“社会を明るくする運動”萩市・阿武町作文コンテスト入賞作品の決定と 入賞作文集発行！～犯罪や非行を防止し，立ち直りを支える地域のチカラ～

第76回“社会を明るくする運動”萩市・阿武町作文コンテスト入賞作品が決定し、入賞作文集が発行されましたのでお知らせします。

本作文集は、入賞作品を収録したものであり、一人でも多くの方に読んでいただき、児童・生徒の皆さんの思いを青少年の健全育成・非行防止に役立てていただくとともに、“社会を明るくする運動”に対する一層のご理解・ご協力をいただくことを願って発行されました。なお、発行した作文集は萩市・阿武町の公民館、図書館に設置しています。

1. 入賞者 ： 添付資料のとおり

2. 応募数
合計19校113点（小学生の部 7校 18点、中学生の部 12校 95点）
※前回は、合計22校167点の応募。

3. 受賞点数 ： 小学生の部 6点、中学生の部 6点

4. 審査員（計13名） ： 萩保護区保護司会、更生保護女性会、阿武町教育委員会、萩市教育委員会、“社会を明るくする運動”萩市・阿武町推進委員会事務局

5. 審査会開催日 ： 令和8年9月11日実施

6. 入賞作文集送付先
萩市・阿武町の小・中学校、教育委員会、図書館、公民館、萩警察署、山口保護観察所、
山口県保護司会連合会、保護司、更生保護女性会 等

7. 主催
“社会を明るくする運動”萩市推進委員会、“社会を明るくする運動”阿武町推進委員会

8. その他
（1）入賞者には、萩保護区保護司会より、賞状及び記念品が贈られます。また、応募者の全員にも参加賞が贈られます。
（2）表彰式等は、実施いたしません。賞状等は、萩保護区保護司会員及び更生保護女性会員が直接各小中学校にお届けする予定です。
（3）“社会を明るくする運動”とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まり、今回で第76回を迎えます。作文コンテストは、萩保護区では、第57回（平成19年）から始まり、今回で19回目となります。

第76回“社会を明るくする運動”萩市・阿武町作文コンテスト入賞作品

	学校名	学年	氏　名	題　　名	備考
“社会を明るくする運動”萩市・阿武町推進委員会委員長賞	福栄小中学校	5	原（はら）　花奈（はな）	失敗を受け入れる心	
	むつみ中学校	3	小野（おの）　絆（きずな）	対話から始まるあたたかな社会	
萩市教育委員会教育長賞	小川小学校	6	海津（かいづ）　啓斗（けいと）	ここちよい居場所	※1
	旭中学校	2	永田（ながた）　聖弥（せいや）	「守られながら生きている」	※1
阿武町教育委員会教育長賞	阿武小学校	6	井上（いのうえ）　泰生（たいせい）	ぼくにできる社会を明るくすること	※2
	阿武中学校	1	田中（たなか）　胤旬（いんしゅん）	明るくするということ	※2
萩保護区保護司会会長賞	阿武小学校	6	竹本（たけもと）　大悟（だいご）	あいさつをわすれないで	
	阿武中学校	3	平田（ひらた）　乃愛（のえ）	支えることから始まる明るい社会	
萩市更生保護協会会長賞	阿武小学校	6	勝部（かつべ）　悠斗（ゆうと）	今、ぼくにできること！	
	須佐中学校	3	大草（おおくさ）　怜士（れお）	「あいさつ」中学生になって気づいたこと	
更生保護女性会会長賞	福栄小中学校	6	藤原（ふじわら）　央佑（おうすけ）	思いやりで社会を明るくする	
	田万川中学校	2	澄川（すみかわ）　詠子（うたこ）	思いやりがつなぐ明るい社会	

※1　選定対象地域　：　萩市

※2　選定対象地域　：　阿武町

記者発表（配付）資料

令和８年１１月５日

所属部課	部　　長	課　　長	室　　長	担　　当	連　絡　先
萩市商工観光部観光政策課 花と緑の推進室	藤原　章雄	中村　浩二	中西　渚	後藤　優気	0838-25-3644

件　　名	「日本の自生北限地のサザンカ」が開花中！

国の天然記念物である指月山のふもと（指月公園内）に、日本の「自生北限地のサザンカ」の真っ白い花が咲き始めました。指月山は、本州で唯一サザンカが自生する「自生北限地」です。

枝先に直径５～７センチの５弁の白い花を咲かせ、森にひっそりと咲く奥ゆかしさは神秘的です。

サザンカはツバキと並び、晩秋から冬にかけて庭を彩る数少ない花木の代表です。日本を原産とし、四国南部・九州・沖縄や最南の西表島など暖地性の山地に自生するツバキ科の常緑小高木で、大きいものは１０メートル以上にもなります。

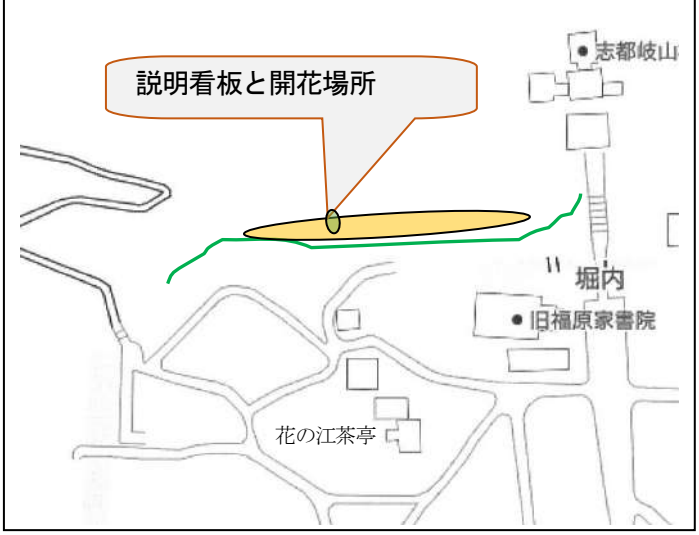
■場　所：　指月公園内　（萩市堀内１−１）

■見ごろ：１０月下旬～１２月下旬

令和８年１０月２８日現在









令和８年度様式

学校（幼稚園）情報　東・西・南・北

ようこそ、わたしたちの学校（幼稚園）へ！ホットな情報を紹介します。

発信　令和　8年11月5日

学校（園）名	萩市立萩東中学校			
校長（園長）名	吉松　良子	**担当者**	近江　誠一郎 網本　拳太	
所在地	萩市大字土原５５６番地			
連絡先等	TEL	0838-25-2721	FAX	0838-25-3721
	学校ウェブサイトＵＲＬ　※開催の中止や延期、場所の変更等をお知らせします。 https://sites.google.com/edu.city.hagi.lg.jp/hagihigashi			

件　名	職場体験学習で得た学びを未来につなげます！ for 萩PRIDE
内　容	本校２年生は、１０月に２日間にわたって萩市内や萩市周辺の事業所等で職場体験学習を実施しました。生徒たちは、働く人々との交流や仕事の体験を通して、地域を支える様々な職業や、その仕事に携わる方々の思いや工夫にふれました。 働くことの意義や地域社会とのつながりについて学んだことに加え、「萩の魅力をどのように発信していくか」「地域の活性化に向けて自分たちにできることは何か」といった視点から、自分たちなりの考えや提案をまとめました。 今回の報告会では、職場体験で出会った「人」「仕事」「地域」に着目し、体験の中で得た気付きや疑問を出発点として、地域の課題や将来の姿について考えた成果を発表します。そして、体験して、気付いて、考えて、そして伝える－生徒一人ひとりが職場体験を通して見つけた「萩の今とこれから」を発表します。
日　時	令和　８年１１月１３日（金）　８：４５～１２：３５
場　所	萩東中学校体育館・武道場・卓球場
参加者	本校２年生、教職員、保護者、職場体験学習受入先事業所（一部）
その他 **（参考事項）**	本発表会では、１０月に実施した職場体験学習で得た気付きや疑問をもとに、生徒が地域の魅力や課題について探究的に学んだ成果を発表します。地域で働く方々との交流や実際の体験を通して得た学びを振り返るとともに、萩の現状や将来について考察し、自分たちなりの視点でまとめた提案や考えを発信します。 ※日時・内容等の変更があることがありますので、学校ウェブサイトをご確認ください。 ※天候等の理由で開催日時を変更することがあるので、取材されるときは事前に学校へ連絡してください。

記者発表（配付）資料

令和８年１１月６日

所属部課	部　　長	課　　長	班　　長	副班長・担当	連絡先
萩市総合政策部 萩暮らし応援課	肌野　次雄	上田　知由	蜷川　大介	堀　理恵子	（0838） 25-3360

件　　名	「第３回はぎポルト写真コンテスト」の開催について

「はぎポルト- 暮らしの案内所- 」では、皆さんの心のなかにある萩を写真とエピソードで募集する写真コンテストを開催しますので下記のとおりお知らせいたしします。

記

１．募集期間　　令和８年１１月１日（日）～１２月３１日（木）

２．テ ー マ　　「心のなかの萩」

３．カテゴリー　「萩の日常」部門、「萩まちじゅう博覧会」部門
※各部門で受賞した方には、豪華賞品を贈呈します

４．主　　催　　萩市（萩暮らし応援課、はぎポルト- 暮らしの案内所- ）

５．協　　力　　萩まちじゅう博覧会実行委員会

【コンテストの詳細はこちら】

https://hagiporto.com/photocontest3rd/

あなたの“心のなかの萩”を募集します

第3回 はぎポルト 写真コンテスト

募集期間 11/1(日)～12/31(木)

※結果発表：2027年2月20日（土）はぎポルトのポータルサイトで発表予定

知っているようで、知らない萩。
萩を愛する人たちが感じたそれぞれの想い。
あなたも写真とエピソードで伝えませんか？

今回の募集カテゴリーはこちらの2つです！

「萩の日常」部門

通勤・通学の風景、郷土料理、朝夕のさんぽなど、ふだん目にする何気ない光景の中にも“萩らしさ”を感じる写真とエピソード

「萩まちじゅう博覧会」部門

博覧会プログラム※を通して出会った、ふれあい・ぬくもり・ときめきの写真とエピソード

※「萩まちじゅう博覧会」で検索

各部門で受賞した方には、豪華賞品を贈呈します！

グランプリ



1名 割烹千代　桜ふぐ（真ふぐ）の豪華満腹セット【冷凍】

萩の日常賞
萩まちじゅう博覧会賞

各1名
A・B・Cの中から一つ選択

A. 萩博物館オリジナル 高杉晋作の句入りTシャツ＆手ぬぐいのセット（M/L/XL）※額は含まれません



表　裏

B. 萩産ブランド米とご飯のお供セット



C. 萩椿オリジナルスイーツ詰め合わせ



萩市長賞



1名
はぎポルト萩のお楽しみセット

◇主催：萩暮らし応援課　はぎポルト - 暮らしの案内所 -　◇協力：萩まちじゅう博覧会実行委員会
◇お問い合わせ：0838-25-3819（担当さえぐさ）　◇メール：teijyu@city.hagi.lg.jp

コンテストの詳細はこちら

第３回 はぎポルト写真コンテスト



【参加資格】

●どなたでも可（プロ・アマは問いません）但し、日本国内にお住まいの方に限ります
●作品を撮影した本人のご応募に限らせていただきます
●未成年の方は、保護者の同意が必要です（※応募フォームで保護者の同意を明記してご応募ください）

【参加費】無料（写真をデータ化する際にかかる費用、投稿の際にかかる通信料は参加者の負担となります）

応募方法

作品の「タイトル」と「エピソード（400 字以内）」
「いつ（不明の場合はだいたいの年月）」「どこで」撮影したものかを明記して応募フォームからデータでご応募ください。

エピソード（例）：毎年小さな楽しみにしている船まわし跡の睡蓮。子どもの頃から見ているこの睡蓮を、今年は初めて我が子を連れて見に行った。いつかこの子も成長して、見に来るのだろうか。そんな未来を想像しながら、この風景をずっと守っていきたいと思った。

写真コンテストの応募フォームはこちら

当コンテストのご応募は、お一人様２点までとさせて頂きます。
例:「萩の日常」１点と「萩まちじゅう博覧会」１点、または「萩の日常」２点、または「萩まちじゅう博覧会」２点
※写真１点ごとの応募になりますので、２点応募したい方は新しい応募フォームから必要事項を記入してご応募ください
※データが 10MB を超えてアップロードできない場合は備考欄にその旨お書き頂き一旦応募してください

組み写真で参加されたい方は、１枚ものとしてデータ編集してご応募ください
規定数を超えて応募された場合、３点目からは無効となります

【応募条件】

●萩市内で撮影したものであること
●データで応募できること（紙焼きしかない場合は、データ化して送れる方に限ります）
●応募者が撮影したオリジナル作品であること
●撮影機材は種類やメーカーを問いません※
※1 一眼カメラ、スマートフォンでも応募可
※2 動画からの切り取りは不可（この企画が「写真コンテスト」であるため）
●カラー、モノクロのどちらでも応募可
●原本から大幅に異なる画像処理を行っていないこと
（トリミング、明度、彩度、色調の調整は除く）
●AIで生成および合成した写真は応募できません
●法令、公序良俗に反しないこと
●第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害しないこと※
※1 主題となるようなものに人物が含まれている場合承諾を得た上で応募してください（肖像権の侵害等について主催者は一切責任を負いません）
※2 立入禁止区域や私有地等からの撮影の場合管理者や所有者に承諾を得た上で応募してください（公共エリアや一般開放エリアでの撮影は管理者等へ確認の必要はありません）
●過去の「はぎポルト写真コンテスト」に応募した作品は応募できません
●他の展覧会、コンテスト、雑誌などの企画で入賞した作品は応募できません
●商品として販売している写真は、フリーダウンロードを含め応募できません
●撮影の時期に定めはありません（応募者が撮影者本人であれば何年前のものでも OK）

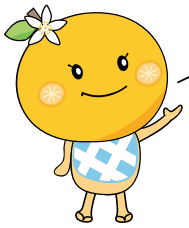
【審査方法】

萩市で移住定住促進を担う「萩暮らし応援課」と、日本写真家協会（JPS）正会員で萩市ローカルエディターとしても活躍するうえだこうじ氏が、写真とエピソードの両面から選出し、部門賞を決定。とくに「心のなかの萩」が感じられるものをグランプリとします。特別賞として「萩市長賞」もご用意しております。受賞者には萩にちなんだ多彩な賞品をご用意しておりますので、ふるってご応募ください
※選考の過程で撮影機材や撮影状況についてお伺いすることがありますので、その際にはご協力ください

【公開について】

応募作品（写真・お名前・頂いたエピソード等を含む）は、はぎポルト内、はぎポルトのウェブサイト、地域とつながるプラットフォーム「スマウト」のプロジェクト、SNS、Note 等で公開させて頂く場合があります※

※1 ニックネームでの公開をご希望の方は、申込フォームで希望欄にお書きください
※2 掲載時にはご連絡を差しあげておりませんので、あらかじめご了承頂ける方のみご応募ください
※3 公開に際し、編集上の制約や配慮が必要と判断した際は、ぼかし処理やトリミング等により作品を加工させて頂く場合があります



審査結果は
2027年2月20日(土)
右記サイトにて発表します



第2回 はぎポルト写真コンテスト
グランプリ受賞作品
「海に沈む夕日を見つめて」いそさん

過去の応募作品はこちら！

萩市は広さ約６９８平方キロメートル、自然に恵まれ歴史的建造物も多く、農産物・水産物・観光が盛んなまちです。
しかし少子高齢化で人口は年々減り続けており、もっと萩への想いを深めて頂きたいと願っています。そこで移住定住の相談窓口「はぎポルト - 暮らしの案内所 -」では、皆さんの心のなかにある萩を写真＋エピソードで募集し、コンテストを開催！ 萩を好きな方はもっと好きに！まだよく知らないという方には、いいところを知って頂くきっかけにしたいと思います。皆さんのご応募をお待ちしております！

記者発表（配付）資料

令和 8 年　11 月　6 日

所属部課	館　長	担　当	連絡先
旭総合事務所 明木図書館	山本　秀美	市原　浩佳	0838-55-0314

件　　名	明木図書館　創立 120 周年記念展 「明木図書館 120 年の歩み」を開催します。

明木図書館は、明治３９年１１月に明木村立明木図書館として創立し、今年で１２０周年を迎えます。

歴史ある明木図書館の名を後世に伝えていくために、明木図書館の１２０年を振り返る機会として下記のとおり、展示を行いますのでお知らせします。

記

１．日　時　　令和８年１１月１７日（火）～１２月２７日（日）
　　午前９時～午後５時３０分
２．場　所　　萩市立明木図書館（山口県萩市大字明木 3039 番地）
３．参　考

■明木図書館の沿革

１代目	明治３９年１１月	明木尋常高等小学校内に、県内４館目の公立図書館として開館。 日露戦争記念として開設。瀧口吉良翁の尽力により創立。
２代目	昭和　３年　８月	瀧口吉良翁の寄附と蔵書の寄贈により、新館舎落成。
	昭和３０年　４月	明木村と佐々並村が合併して旭村が発足。旭村立明木図書館と改称。
３代目	昭和３２年　３月	創立５０周年を記念して、牛地へ移転新築。２代目の図書館は移築され、 下横瀬公民館となる。
	平成１７年　３月	市町村合併により新しい萩市が発足。萩市立明木図書館に改称。
４代目	平成２８年　４月	明木小学校・旭中学校新設に伴い移転・新築。

■明木図書館のコンセプト「～明治時代から未来へ、子どもたちの夢をつなぐ～」

■めざす図書館

村立図書館として建てられた図書館では、現存する日本最古の図書館。その歴史ある明木図書館の名を後世に伝え、資料を保存活用し、次世代に伝える使命を担う。

また、学校図書館と一体化することで、地域のコミュニティーの場として、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流を行い、「地域に学び、地域を愛する、ふるさと学習の拠点」となる学校づくりを支援する。

令和８年度様式

学校（幼稚園）情報　東・西・南・北

ようこそ、わたしたちの学校（幼稚園）へ！ホットな情報を紹介します。

発信　令和8年 11 月6日

学校（園）名	萩市立小中一貫教育校　小川小学校			
校長（園長）名	安江　佳世子（小川小）	**担当者**	三輪　錠次（小川小）	
所在地	（小川小）萩市大字中小川９７７番地			
連絡先等	TEL	08387-4-0334	FAX	08387-4-0219
	学校ウェブサイトＵＲＬ　※開催の中止や延期、場所の変更等をお知らせします。 https://sites.google.com/edu.city.hagi.lg.jp/ogawasho			

件　名	令和８年度　小川っ子祭り ～ありがとう小川小学校～
内　容	来年度から、全校児童は隣接校に登校することになり、記念的な行事となる本行事です。 毎年、保護者や地域の方に学習の成果を発表することで、これまでの学びを整理し、自分の言葉や表現で分かりやすく伝える力を育んできました。今年は、総合的な学習の時間に「小川地域の歴史を掘り起こし、歴史を未来へつなごう」をテーマとして学習したことを発表します。また、毎年恒例の全校児童と教職員による合奏や合唱、来場者の皆さんとの校歌の斉唱、最後にはお楽しみ抽選会も予定しております。 ふるさとを大切にする気持ちやこれまでお世話になってきた地域の方への感謝の気持ちを伝える小川っ子の姿をぜひご覧ください。 【日程】 ９：００～はじめの会 ９：１０～全校児童発表『タイムトラベル！小川の昔と今、そして未来』 ９：４０～休憩（１０分） ９：５０～ショートプログラム（児童の興味や趣味の発表） １０：２０～全校合奏・全校合唱 １０：４０～全員合唱「小川小学校　校歌」 １０：５０～おわりの会 １１：００～お楽しみ抽選会
日　時	**令和８年１１月１４日（土）　９：００～　１１：３０**
場　所	小川小学校　体育館
参加者	児童７名、教職員７名、保護者や地域の方々９０名程度　**合計　約１１０名**
その他 **（参考事項）**	ご不明な点がありましたら、小川小学校（教頭）にご連絡ください。 ※日時・内容等の変更があることがありますので、学校ウェブサイトをご確認ください。 ※天候等の理由で開催日時を変更することがあるので、取材されるときは事前に学校へ連絡してください。

記者発表（配付）資料

令和８年１１月６日

所属部課	局　長	課　長	課長補佐 （担　当）	連絡先
萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課	岸田　尚之	岡村　卓司	吉崎　政志	(0838)25-3590

件　　名	**令和８年度 萩ふるさとまつり「のど自慢大会」開催について**

「のど自慢大会」は、萩ふるさとまつりの恒例行事として開催しており、今回で２０回目を迎えます。今年も、多くの皆さんにご参加いただき開催しますので、下記のとおりお知らせします。

記

１　開催日時　令和８年１１月１４日（土）午後１時～午後４時３０分
【予定】ジュニアの部　午後１時～午後２時
一般の部　午後２時５分ごろ～午後４時３０分
※進捗状況によって予定時刻が前後する場合がございます。

２　会　　場　萩市総合福祉センター　多目的ホール（入場無料）

３　出 演 者　ジュニアの部　３組（４人）、一般の部　１８組（１８人）

４　審 査 員　【ジュニアの部、一般の部】
池田廣司（萩市教育長）
杉ひろ子（市民団体「萩発愛のメッセージ」代表）
草野隆司（歌う樹木医）

５　ゲ ス ト　【ジュニアの部】　秋山　由宇
秋山　紗希

【一 般 の 部】　濱　　豊（昨年度優勝者）
キングレコード　山﨑　たけし
キングレコード　川島　とし子

６　主　　催　萩ふるさとまつり「のど自慢大会」事務局

ゲストステージ

ジュニアの部

秋山　由宇　さん

秋山　紗希　さん

一般の部

昨年度優勝者

濱　豊　さん

キングレコード

山﨑　たけし　さん

川島　とし子　さん

賞品提供

一般社団法人

萩物産協会

ジュニアの部

13：00　オープニング
ジュニアの部スタート

13：30　ゲストステージ

13：45　表彰式

一般の部

14：00　主催者あいさつ
一般の部スタート

15：35　エキシビション・ゲスト
ステージ

16：05　表彰式

16：30　終演予定

お問合せ

萩市教育委員会事務局
文化・生涯学習課
電話: 0838-25-3590

萩ふるさとまつり
2026

第２０回
のど自慢大会

令和 8年11月14日(土)

萩ふるさとまつり実行委員会

ジュニアの部 エントリー

1. 内田　菜実
「真っ赤な太陽」
2. 井上　結稀　水津　心花
「キミに100パーセント」
3. 秋山　日向大
「あなたがいることで」

一般の部 エントリー

1. 長谷　英治
「涙そうそう」
2. 吉山　靖典
「岸壁の母」
3. 植木　繋生
「青葉城恋唄」
4. 山根　美穂
「美唄の風」
5. 木原　悦子
「あんたの花道」
6. 大森　昭代
「河内おとこ節」
7. 内田　陽介
「Tokimeki」
8. 寺田　博志
「あなたに今夜は
ワインをふりかけ」
9. 吉田　達男
「北の断崖」
10. 岡村　さなえ
「雨上がり」
11. 橋本　大治
「マイ・ウェイ」
12. 大田　博子
「陽かげりの街」
13. 藤本　康平
「完全無欠の
ロックンローラー」
14. 藤原　圭将
「栄光の架橋」
15. 中村　文枝
「私は最強」
16. 上山　信一
「雨の御堂筋」
17. 林　敏子
「昭和かたぎ」
18. 中村　誠一
「逢えなくていいから」

記者発表（配布）資料

令和８年１１月６日

所属部課	部　長	館　長	統括学芸員	担　当	連絡先
萩市商工観光部 萩博物館	藤原章雄	大槻洋二	道迫真吾 伊藤靖子	山田愛子 伊藤靖子	0838 - 25-6447

件名	**１１月１１日は、萩博物館の開館記念日 当日は感謝をこめて、来館者に特別プレゼント**

萩博物館は、平成 16 年（2004）11 月 11 日に、旧萩城三の丸（堀内）に萩の総合博物館として誕生しました。今年で 22 回目の開館記念日となります。22 周年のこの日を迎えることに感謝を込めて、当日は展示観覧者（先着 50 名）にささやかな記念品（ポストカード、缶バッジ）をお渡ししますので、お知らせします。

■萩博物館について

萩博物館は、地域の総合博物館であるとともに、萩市が掲げる萩まちじゅう博物館の中核施設としての役割を担い、まち全体を展示室と見立てた活動の中心でもあります。

また、敷地は世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「萩城下町」の中にあり、かつての毛利一門の上級武家屋敷の敷地を継承し、館の施設も文化財である古い遺構を残しつつ、周囲の町並みと調和した隅矢倉の復元や武家屋敷を模した建物構成により、博物館そのものが萩城下町の展示資料とも言えます。

※　萩博物館、開館までの沿革は、ホームページをご覧ください。
（萩博物館 HP－施設案内－萩博物館について　https://hagimuseum.jp/about/）



＜関連情報＞

翌日、11 月 12 日（木）には、山口県博物館協会研修会を萩博物館で開催します。

令和8年度山口県博物館協会研修会

１ 日 時 令和８年１１月１２日（木）　１０時から１５時３０分
２ 会 場 萩博物館（事例発表・特別講演・展示見学）、萩反射炉（現地見学）
３ 主 催 山口県博物館協会（事務局：山口県立山口博物館、加盟館数６０館）
４ 後 援 萩市、長門市
５ 内 容 テーマ「ものを修復する」の下、座学及び現地見学

記者発表（配付）資料

令和８年１１月６日

所 属 部 課	部　長	課　長	班　長	担　当	連 絡 先
萩市商工観光部 産業政策課	藤原　章雄	大久保　成彦	中村　和也	井上　祐太	(0838) 25-3638

件　名	萩まちじゅう博物館構想を応援！！ 「萩まちじゅう博物館ＷＡＯＮ」寄付受納式

平成２３年に締結した、萩市と株式会社フジ（旧マックスバリュ西日本㈱）との地域貢献連携協定により、電子マネー「ご当地ＷＡＯＮ」として「萩まちじゅう博物館ＷＡＯＮ」が発行され、当該電子マネーによる売上額の０．１％が萩市へ寄付されることとなっています。

このたび、株式会社フジから寄付の申し入れがあったため、下記により「萩ふるさとまつり」の会場において寄付受納式並びに感謝状贈呈式を行いますのでお知らせします。

記

１．日　　時：令和８年１１月１４日（土）午後０時３０分～午後０時４５分

２．場　　所：中央公園（萩ふるさとまつりメインステージ）

３．次　　第：１.出席者紹介
２.株式会社 フジ　新原 DS 推進本部長　挨拶
３.目録授与
４.感謝状贈呈
５.萩市長挨拶
６.記念撮影

４．寄付金額：**１，０２９，７６８円**（令和７年３月～令和８年２月分）
※平成２３年度からの累計金額　**１４，９０８，２７４**円

５．出席予定者：株式会社フジ 執行役員 DS 推進本部長 新原（しんばら） 輝哲（てるのり）　氏

株式会社フジ DS 山口広島山陰店舗運営部長 糸稲（いといね） 和巳（かずみ）　氏

株式会社フジ ザ・ビッグエクストラ萩店 店長 井上（いのうえ） 清英（きよひで）　氏

萩市市長　田中（たなか）　文夫（ふみお）

萩市商工観光部 部長　藤原（ふじわら）　章雄（あきお）

６．その他

山口県内で発行されている地域ＷＡＯＮカードとしては、萩市の「萩まちじゅう博物館ＷＡＯＮ」が第１号となっています。

【萩まちじゅう博物館ＷＡＯＮの概要】

発 行 開 始 日：平成２３年８月３日（水）
発 行 枚 数：約２４，２００枚（令和８年９月末時点）
利 用 箇 所：約１，６７６，０００箇所（令和８年８月末時点）

「萩まちじゅう博物館ＷＡＯＮ」カードデザイン

＜表　面＞



＜裏　面＞



券面デザインは、萩城下町の風景にかかせない夏みかんが実る土塀のまちなみを観光する風景をイラストで表面に、江戸時代の地図がそのままつかえるまち萩を象徴する意味で古地図を裏面に配置。

記 者 発 表（配付）資 料

令和８年 11 月６日

所属部課	部　　長	課　　長	係　　長	担　　当	連 絡 先
萩市商工観光部 文化財保護課	藤原　章雄	柳井　淳治	藤原　勝也	吉光　貴裕	0838-25-3238

件　　名	**萩市重伝建選定 50 周年記念シンポジウム 「萩の歴史的町並みのあゆみ　これまで、いま、そしてこれから」 を開催します**

今から 50 年前の昭和 51 年９月４日､萩市にある堀内地区と平安古地区の伝統的建造物群保存地区が、日本で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）に選定されました。50 周年という大きな節目を迎える今年、これまでのあゆみと今を確認し、これからの萩の歴史的町並みについて前向きに考えていくシンポジウムを開催しますのでお知らせします。

1. 日　時　令和８年 11 月 21 日（土）
午後１時 30 分～午後４時 30 分

2. 会　場　サンライフ萩　多目的ホール（萩市大字土原 526 番地）

3. 入場料　無料（申込不要、どなたでもご参加いただけます）

4. 内　容　午後１時 30 分から　　開会挨拶
午後１時 45 分から　　基調講演
●基調講演１
演題『伝建制度 50 年－これまでの歩みと、これからの課題』
講師　下間 久美子氏（國學院大學 教授）
●基調講演２
演題『萩市の伝統的建造物群保存地区にみる先進性と将来への期待』
講師　西山 徳明氏（北海道大学 名誉教授）
午後２時 50 分から　　事例発表
●重伝建４地区の紹介ムービー上映
萩市 堀内地区・平安古地区・浜崎・佐々並市伝建地区
●学校の取組事例発表
萩市立萩西中学校、山口県立萩高等学校
午後３時 30 分から　　トークセッション
「歴史的町並みと暮らす、未来を描く　みんなであゆむ、次の５０年」
コーディネーター　西山 徳明氏（北海道大学 名誉教授）
登壇者　下間 久美子氏（國學院大學 教授）
清永 洋平氏（文化庁　文化財調査官）
萩市 堀内地区・平安古地区・浜崎・佐々並市伝建地区保存団体 代表者
田中 文夫（萩市長／全国伝統的建造物群保存地区協議会 副会長）
午後４時 30 分から　　閉会

5. オンライン視聴のための事前登録について

シンポジウム当日の様子を zoom でライブ配信します。遠方にお住まいの方やご自宅でシンポジウムを楽しみたい方は、ぜひご利用ください。ライブ配信でご覧になる方は事前登録が必要です。11 月 19 日（木）午後５時までに下記リンクから申請をお願いします。

https://logoform.jp/form/k4tS/1858799

※会場でご覧になる方は申込不要です。

事前登録
申込フォーム

6. 主　催　萩市重伝建選定 50 周年記念事業実行委員会

7. 問い合わせ先　萩市重伝建選定 50 周年記念事業実行委員会事務局（文化財保護課）
0838-25-3238


［堀内地区］


［平安古地区］

萩の歴史的町並みのあゆみ


［浜崎］


［佐々並市］

これまで、
いま、
そして
これから

2026 重伝建選定 HAGI 50th

萩市 重伝建選定50周年記念 シンポジウム

令和８年

11/21（土）

午後１時30分～

会場 **サンライフ萩** 多目的ホール（山口県萩市土原526）

入場料：無料 申込不要

当日オンライン配信あり

※オンライン配信は事前登録制／こちらからご登録ください

URL／https://logoform.jp/form/k4tS/1858799

基調講演

「伝建制度50年
― これまでの歩みと、これからの課題」
下間 久美子 氏　國學院大學 教授

「萩市の伝統的建造物群保存地区にみる先進性と将来への期待」
西山 徳明 氏　北海道大学 名誉教授

事例発表

- **重伝建４地区の紹介**（ムービー）
  ［萩市堀内地区・平安古地区・浜崎・佐々並市伝建地区］
- **学校の取組事例発表**
  ［萩市立萩西中学校、山口県立萩高等学校］

トークセッション

「歴史的町並みと暮らす、未来を描く みんなであゆむ、次の50年」

- コーディネーター
  西山 徳明 氏　北海道大学 名誉教授
- 登壇者
  下間 久美子 氏　國學院大學 教授
  清永 洋平 氏　文化庁 文化財調査官
  萩市 堀内地区・平安古地区・浜崎・佐々並市伝建地区保存団体 代表者
  田中 文夫　萩市長／伝建協副会長

主催：萩市重伝建選定50周年事業実行委員会、一般財団法人 自治総合センター　後援：総務省、山口県、山口県教育委員会、全国伝統的建造物群保存地区協議会

お問い合わせ：萩市重伝建選定50周年記念事業実行委員会事務局（文化財保護課）☎0838-25-3238

萩の歴史的町並みのあゆみ

これまで、
いま、
そして
これから

萩市 重伝建選定50周年記念 シンポジウム

2026 重伝建選定 HAGI 50th

今から50年前の昭和51（1976）年9月4日、萩市堀内地区と萩市平安古地区の伝統的建造物群保存地区が、日本で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）に選定されました。

50周年という大きな節目を迎えた今年、町並み保存や活用の専門家や地区内にある萩西中学校と萩高等学校、萩市にある4つの重伝建地区を保存活用されている皆さんと共に、萩の歴史的町並みのあゆみのこれまでといまを確認し、これからについて前向きに考えていくシンポジウムを開催します。




旧益田家物見矢倉周辺［堀内地区］


坪井九右衛門旧宅周辺［平安古地区］


旧門町周辺（本町筋）［浜崎］


旧国鉄バス佐々並駅周辺［佐々並市］

基調講演／午後1時45分～

「伝建制度50年 ― これまでの歩みと、これからの課題」



下間（しもつま） 久美子（くみこ） 氏
國學院大學 観光まちづくり学部 教授
元文化庁 主任文化財調査官（萩市担当）

専門は文化遺産論、都市保全論。1994年より文化庁に勤務し、重要文化財の整備活用、伝統的建造物群保存地区、文化的景観等を担当。途中、ユネスコ世界遺産センターやイクロム等に出向。2022年より現職。犬山市歴史まちづくり協議会委員、姫島村文化的景観整備活用委員会委員、竹富町伝統的建造物群保存地区等保存審議会会長などを歴任。著書に共著『観光まちづくりの展望 地域をみつめ、地域を動かす』（学芸出版社、2024）、同じく共著『英仏版の比較検討から読み直すベニス憲章』（南風舎、2025）などがある。

「萩市の伝統的建造物群保存地区にみる先進性と将来への期待」



西山（にしやま） 徳明（のりあき） 氏
北海道大学 名誉教授
萩まちじゅう博物館推進協議会 副会長

専門は建築・都市計画学、観光デザイン、文化遺産マネジメント。九州芸術工科大学、九州大学教授、北海道大学教授を経て、2026年より現職。歴史的集落・町並みや文化遺産地域での観光まちづくりに関するフィールド研究、ヨルダン、フィジー、ペルー等の世界遺産地域での観光開発国際協力を展開中。萩市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員、萩市文化財保存活用地域計画協議会委員、文化庁文化審議会専門委員などを歴任。著書に『萩ものがたりVol.84 新・萩まちじゅう博物館 ― 明日の観光を考えるキーワード ―』（一般社団法人萩ものがたり、2024）などがある。

事例発表／午後2時50分～

重伝建４地区の紹介（ムービー）

［萩市堀内地区・平安古地区・浜崎・佐々並市伝建地区 ］

学校の取組事例発表

- 萩市立萩西中学校の生徒から見た伝建地区に対する思い
  ～ 総合的な学習の時間から ～
- 山口県立萩高等学校生が探る伝建地区の魅力
  ～ 探究学習の成果から ～



会場
サンライフ萩
多目的ホール
山口県萩市土原526
☎0838-26-1333

トークセッション／午後3時30分～

「歴史的町並みと暮らす、未来を描く みんなであゆむ、次の50年」

コーディネーター／西山 徳明 氏　北海道大学 名誉教授

登壇者

下間 久美子 氏	國學院大學 教授
清永 洋平 氏	文化庁 文化財調査官
柳林 浩一 氏	堀内町内会 会長
伊藤 富之 氏	平安古町内会 副会長 萩市伝統的建造物群保存地区保存審議会 会長
岩崎 政尚 氏	浜崎しっちょる会 事務局
林 壯助 氏	萩往還佐々並どうしんてやろう会 会長
田中 文夫	萩市長 全国伝統的建造物群保存地区協議会 副会長

お問い合わせ
萩市重伝建選定50周年記念事業実行委員会事務局（文化財保護課）☎0838-25-3238

【解禁日】受賞者については、１１月６日の表彰式終了後

記者発表（配付）資料

令和８年１０月３０日

所属部課	事務局長	課　　長	課長補佐	担　　当	連絡先
萩市教育委員会 事務局教育政策課	岸田　尚之	椙　央多	森岡　信行	新田　康隆	0838-25-3141

件　　名	令和８年度萩市教育文化奨励賞受賞者の決定について

市では、萩市教育文化奨励基金規則に基づき、萩市の教育・文化・体育の振興と向上に努めた個人及び団体に対して、教育文化奨励賞を授与しています。

令和８年度萩市教育文化奨励賞の受賞者が別添のとおり７個人、２団体に決定しました。

なお、表彰式を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

■表彰式

１　開 催 日　　令和８年１１月６日（金）午後４時～

２　実施場所　　萩市総合福祉センター　１階　多目的ホール

３　内　　容　　別添参照

４　そ の 他　　市長の諮問に応じ、１０月１日に萩市教育文化奨励賞選考委員会（会長 前川　紘子）が開催され、調査及び審議を行い、１０月８日にその結果が市長へ答申され、その答申を受けて決定しました。

令和８年度　萩市教育文化奨励賞表彰式

１　日時　令和８年１１月６日（金）午後４時００分～

２　場所　萩市総合福祉センター　１階　多目的ホール

３　式　次　第

①表　　彰

②市長式辞

③祝　　辞

④謝　　辞

《式終了後》

⑤記念撮影

令和８年度　萩市教育文化奨励賞受賞者名簿

◎教育の部　功労賞

（個人）

江山　規子	（萩）
藤本　和義	（萩）
椿　　義憲	（萩）
毎田　孝則	（萩）

◎文化の部　功労賞

（個人）

松浦　無元	（萩）

（団体）

萩往還佐々並どうしんてやろう会	（旭）

◎文化の部　奨励賞

（個人）

槌屋　幸子	（萩）

◎体育の部　功労賞

（個人）

溝部　泰男	（萩）

◎特別賞

（団体）

山口県立萩商工高等学校	（萩）

萩市教育文化奨励賞受賞者

●教育の部　功労賞

江山　規子

長年萩図書館に勤め、官民協働運営の定着やNPO活動を通じた組織活性化に尽力。山口県初の認定司書として後進の育成や講師活動、地域の出版物編集にも携わるなど地域文化の継承と郷土資料の利活用に貢献。

●教育の部　功労賞

藤本　和義

白水会館館長として、人権教育や社会教育の推進に尽力。地域の学習事業を企画・実施して住民の人権意識向上に寄与したほか、新規採用教職員等の研修での講話を通じて教育現場における人権尊重意識の醸成に貢献。

●教育の部　功労賞

椿　義憲

現職校長時代から萩市の教育振興に尽力し、松陰教学を通じた児童生徒の郷土愛の醸成や若手教員の育成を推進。退職後も「松陰に親しむ会」等の講師を務めるほか、「松陰読本活用資料」を作成するなど、長年にわたり学校や地域への松陰教学の普及・啓発に貢献。

●教育の部　功労賞

毎田　孝則

萩地域青少年育成市民会議の委員や監事として育成活動や団体運営に尽力。民生委員児童委員や町内会長、保護司、「つばき元気の会」会長など多様な役職を担い、多角的な視点から萩市の青少年健全育成に貢献。

●文化の部　功労賞

松浦　無元

独自の釉薬を開発し、「黒萩茶碗」や「紅萩茶碗」など作品で高い評価を獲得。萩陶芸家協会の正会員として展示事業へ積極的に参画するほか、息子の洞心氏をはじめとする後進の育成にも尽力し、親子二代で萩焼産業の発展に貢献。

●文化の部　功労賞

萩往還佐々並どうしんてやろう会

佐々並地区において、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている歴史的な町並みの保存や地域活性化に尽力。清掃活動や温かなおもてなし、イベントの開催等を通じて地域の魅力を守り伝えながら、後世への継承に貢献。

●文化の部　奨励賞

槌屋　幸子

フラダンスを中心に、NPO 活動等を通じて慰問やイベント等のボランティアに尽力。また、朗読やコーラスの指導など多岐にわたる分野で地域文化活動を推進し、萩市の地域文化の発展に寄与。

●体育の部　功労賞

溝部　泰男

萩市ソフトボール協会審判員として萩市の市技であるソフトボール競技の普及、発展のため貢献。同協会が主催、主管の大会や永年開催している萩市民ソフトボール大会の運営及び審判として精励。現在は理事長として協会の運営、審判員の養成、指導等、社会体育発展のため尽力。

●特別賞

山口県立萩商工高等学校

萩商工高等学校は、商業科・工業科を併せ持つ高校としての特色を最大限に活かし、地域社会と密接に連携した先駆的なキャリア教育を推進。取組が評価され、2026 年に文部科学大臣表彰を受賞。